



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.29 2007.10.2

発行 のの山けん事務所

〒115-0042志茂4-6-15

ご相談はお気軽に **090-2156-3510**

福田政権発足 自民・公明が連立政権合意 医療費負担増「凍結」というが…

	現行	08年4月から	自公政権合意	
75歳以上の 保険料	国民健康保険	負担あり	凍結を検討	
	健保・共済	被保険者		負担あり (保険料を年金から天引き)
		扶養家族		負担なし
70-74歳の 窓口負担	現役並み所得者	3割	凍結を検討	
	一般、低所得者	1割		

政権を投げ出した安倍前首相の後をうけ、福田新政権が発足しました。自民党と公明党は9月25日、連立政権の合意を確認し、来年4月からの医療改悪を「凍結」するなどとしていますが、果たして本当なのでしょう。

昨年、自民・公明が強行した医療制度大改悪により、来年4月から高齢者の医療費が大幅に値上げになります。また、75歳以上のお年寄りは、後期高齢者医療制度の導入で、年額平均約15万円の保険料が年金から天引きされることとなります。こうした改悪を前に、自公政権は「負担増を凍結」などといっています。

しかし、高齢者医療費負担増については、制度自体の抜本的見直しに踏み込んだものではなく、ごく部分的な「凍結」を打ち出しただけです(図参照)。

▼**扶養家族のみ**

盛り込まれたのは、70～74歳の窓口負担の2割への引き上げ(現行は1割)の凍結です。また、後期高齢者医療制度では、現在扶養家族になっている約200万人についてのみ保険料徴収を凍結することを打ち出しました。

これに必要な国の財源は合わせて900億円程度(厚労省試算)。政治の姿勢を国民の暮らし重視に変えれば、実現は可能です。

ところが、自民党内からは財源を理由に難色を示す声が出され、「早急に結論を得て措置する」との表現にとどまっています。

▼**制度自体の全面的見直しを**

日本共産党は政府に対し、来年4月からの医療制度改悪の実施を凍結するとともに、制度そのものを全面的に見直すことを強く求めています。

日本共産党の居住支部、そね都議、のの山区議が 赤羽公園の整備を北区に申し入れ



赤羽公園の整備について北区に要望書を渡す居住支部の代表、そね都議（中央）、のの山区議（左から3人目）。

9月20日、赤羽東地域で活動する日本共産党の3つの居住支部は、9月1日におこなった現地調査の結果をふまえ、そねはじめ都議、のの山けん区議とともに、①破損箇所はただちに修繕・改修を、②日常的な管理体制の強化を、③段差解消をはじめバリアフリー化をすすめてください、④放置自転車・放置オートバイの解消にむけた対策を講じてください、とする「赤羽公園の整備に関する要望書」を区に提出しました。

対応した工事課長および道路後援課長は「長期的には全面改修も視野にいれながら、指摘された破損箇所については緊急に改修したい」などと回答しました。



■入口付近には放置自転車、放置オートバイが置かれ、歩行の妨げになっている。



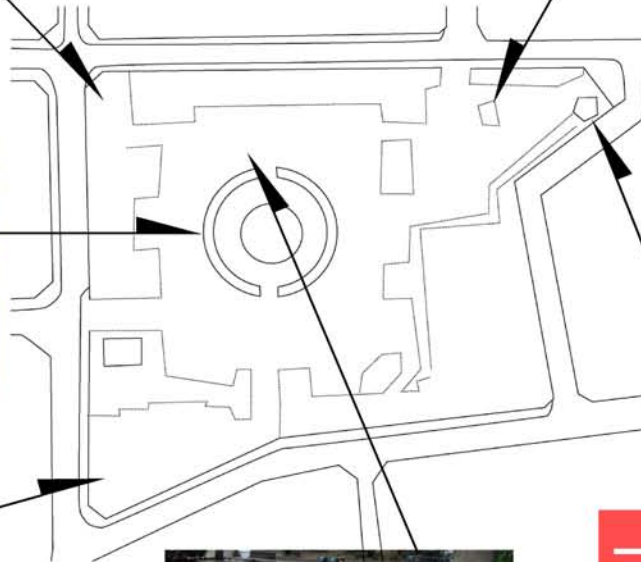
■雑草がぼうぼうと生い茂ったままの噴水周辺。



■防犯をよびかける看板も草木の陰になって読めない。

老朽化した赤羽公園

要望書で改善を求めた主な箇所



■子どもが遊ぶすべり台には亀裂が走り、たいへん危険な状態。



■せっかくの障害者用トイレも入口が段差に。



■敷石がはがれ、浮き上がったしまった床面。

一部改修が実現

このたび、敷石が盛り上がった噴水西側の床面が、簡易舗装で平らにされ、一部のベンチが仕切りつきの新しいものにとりかえられました。